

とよた=3Sドライブ

とよた 3Sドライブとは…

ドライバーが歩行者を交通事故から守るために実践する運転行動です。交通事故を防止するための基本的な運転行動を表した、

「スロー (S l o w)」「スマート (S m a r t)」「ストップ (S t o p)」の3つのSをとって『とよた3Sドライブ』といいます。



豊田市交通安全市民会議キャラクター
シグナルちゃん

Slow

1 ゆっくり発進、ゆっくり停止

発進時はゆっくりと、止まる時は早めにアクセルを離してブレーキに足を乗せておくことにより、とっさの事態に対応できて、事故を未然に防ぐことができます。

実際に、運送事業者 11 社 1,310 台を対象に「ゆっくり発進、ゆっくり停止」を徹底した結果、1年間の交通事故が半減したという事例があります。

(出典：自動車技術会「エコドライブ活動による燃費向上と交通事故低減」H18年9月)

また、ゆっくり停止（早めのアクセルオフ）は、燃費向上にも大変効果があります。

Smart

2 余裕の車間距離で、加減速の少ない運転

前のクルマとの車間距離を十分に保つことは、加減速の回数を減らし、追突事故などの危険性が減り、加えて前方の視界も広がることで、事故を回避しやすくなります。

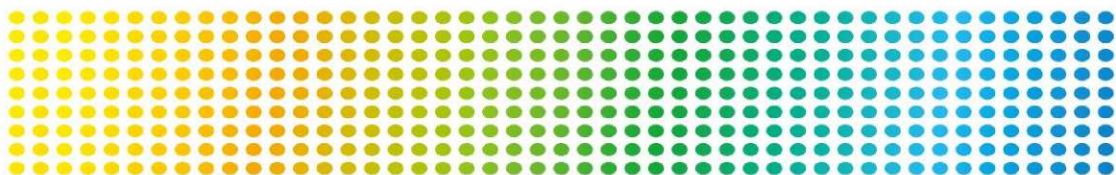
車間距離の目安として、時速40kmの場合では、約2.2m以上の車間距離が必要です。

Stop

3 横断歩道で歩行者を見たら必ず“止まる”

子どもやお年寄りなどを横断歩道で見たら、必ず止まりましょう。また、5分早めに出発することで、歩行者に気配りでき、他のドライバーとの譲り合いができるなど、心と運転にゆとり（余裕）が生まれます。

ゆとりの心で、「クルマ優先」から「歩行者優先」の運転へ変えましょう。



SLOW・SMART・STOP